



6月に柔道の世界選手権大会が開催されました。その大会の女子78kg 超級で優勝した朝比奈沙羅選手の話をしてします。

これは決勝戦の写真です。対戦相手の富田若春選手は、対戦中に膝を怪我してしまいました。試合が終わったあと、富田選手

は動けませんでした。すると朝比奈選手が背負って一緒に畳を下りて一礼をしました。富田選手は102kgあります。朝比奈選手は試合を終え、足はガクガク、腕はしびれて感覚がないほどでした。それでも背負って退場したことに、世界中から賞賛の声が寄せられました。

試合後のインタビューで朝比奈選手は「背負ったことはよかったかどうかは分かりません。けれども戦った相手を置き去りにはできませんでした。」と話しています。素晴らしいスポーツマンシップだと思います。



朝比奈選手は小学校から柔道を始めました。中学校では全国優勝するほど強くなりました。それ以後、世界でも活躍するようになりました。朝比奈選手は柔道選手以外に、将来の夢がありました。医者になることです。大学は医学部を目指しました。高校3年生では柔道の練習を1日2時間、勉強を11時間やったそうです。それでも大学医学部の入試は不合格で、夢はかないませんでした。体育学部に入學しました。勉強するうち教師の仕事も素晴らしい

しいと思うようになり、中学と高校の体育の先生の資格を取りました。それでも、やっぱり医学部で勉強したいと、大学の途中で医学部に編入する試験を受けました。けれども不合格になり、医者への道はないませんでした。大学４年生の時、柔道の世界選手権大会で優勝しました。世界のトップになりましたが、もう一度医学の道に挑戦しようと、卒業した次の年に医学部を受験しました。そしてついに合格しました。



医学生になっても柔道を続けていますが、「柔道で成果が出てない。両立できていない。」「柔道をやりながらでもできるほど、医学の道は甘くない。」などいろいろ言われたそうです。柔道で結果を出すしかないと取り組み、挑んだのが今年の世界選手権大会でした。そして、見事３年ぶりに優勝しました。

朝比奈選手のすごいところは、柔道の練習で忙しいから勉強ができないとか、勉強が大変だから柔道で結果が出せないとか、言い訳をせず、自分の目標のために諦めずに努力するところだと思います。夢への道を一步一步進んでいて素晴らしいですね。

皆さんも目標をもって努力を重ねていってください。できることがどんどん広がっていくでしょう。